

三一七九番

留^とまりにし 人^{ひと}を思^{おも}ふに 秋^{あき}津^つ野^のに 居^ゐる白^{しろ}雲^{くも}の
止^やむ時^{とき}もなし

三一八〇番

うらもなく 去^いにし君^{きみ}故^{ゆゑ} 朝^{あさ}な朝^{あさ}な もとなそ恋^こ
ふる 逢^あふとはなけど

三一八一番

白^{しろ}たへの 君^{きみ}が下^{した}紐^{びも} 我^{われ}さへに 今日^{けふ}結^{むす}びてな
逢^あはむ日^ひのため

三一八二番

白^{しろ}たへの 袖^{そで}の別^{わか}れは 惜^をしけども 思^{おも}ひ乱^{みだ}れて
許^{ゆる}しつるかも